

令和2年度 みやざき小学校学習状況調査問題

国語

(小学校第4学年)

注 意

- 「はじめ」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下のらんに、組、出席番号、名前を書きましょう。
- 「はじめ」の合図があったら、別に配られているかい答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（き本）」からはじめましょう。
- 問題用紙は、全部で15ページあります。
「A問題（き本）」は、10ページで、問題は**五**まであります。
「B問題（活用）」は、5ページで、問題は**二**まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が25分、「B問題」が15分です。
時間に気をつけてときましょう。
早く終わったら、先に進んでいても、もとにもどってといてもかまいません。
- 答えは、かい答用紙の決められた場所に、はっきりと書きましょう。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげましょう。
問題の内ようなどのしつ問には答えられません。

	問題番号	時間
A問題（き本）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 五	25分
B問題（活用）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二	15分
合	計	40分

4年	組	番	名前
----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

□ 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

もうじきおにいちゃんになるぼくは、しばらくおじいちゃんの家に預けられる。そのさびしさから、赤ちゃんのことがどうしても認められないぼく。

お父さんからの電話には、ぼくはなかなか出る気がしなかつた。

「まだ、生まれないそうだ。」

「どうでもいいよ。赤んぼうなんて。」

おじいちゃんは、（①）顔でぼくを見た。

「お前の気持ちも分からんでもないが。」

「……ちょっと、どこ行くのさ。待つてよ。」

ぼくは、あわててサンダルをはいた。

おじいちゃんは、海の水をすくつた。

「ふみや。ほれっ。」

「えつ？ ああっ！ おじいちゃんの手、光つてる！」

※や「夜光虫」だ。こんなに小さな虫でも、生まれてきたことがうれしくってうれしくって、一生けん命光つてるだろ。」

「うわー、おじいちゃん。あつちにもこつちにも、いっぱいだね。」

「……きっと、^②どんな命にも、生まれた時からこんな光がある。だから、ふみや。どうでもいいものなんて、どこにも一つもないんだよ。」

ぼくは、だまって、てのひらの光を見つめていた。

（緒島　英二「海の光」による）

※夜光虫・夜の海で光る小さな生き物

問一（①）に入る言葉として、もつともよくあてはまるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア うれしそうな
イ てれたような
ウ さびしそうな
エ たのしそうな

問二 文章中に――線②「どんな命にも、生まれた時からこんな光がある。だから、ふみや。どうでもいいものなんて、どこにも一つもないんだよ」とあります。このときのおじいちゃんは何をふみやにつたえたかったのでしょうか。もつともよくあてはまるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア 夜光虫の光り方について
イ 海の水のとう明さについて
ウ お母さんの出産について
エ 生命の大切さについて

□ 小学生のまさるさんは、学校のまわりをたんけんしたときにくばられた【パンフレット】を読んで、ひむか川を守るために家でできるについて考えました。次の【パンフレット】を読んで、あとで、この問いに答えてください。

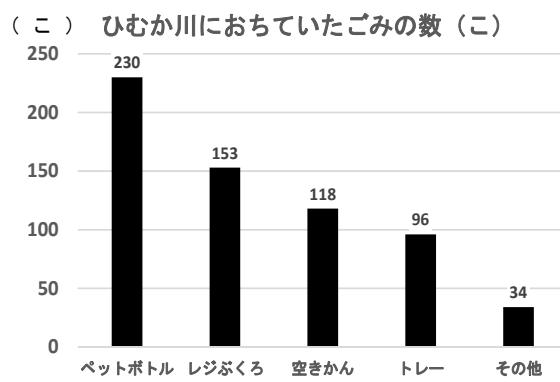
【パンフレット】

ひむか川を守ろう！

ひむか川のようす

むかしのひむか川はきれいでしたが、今は川のまわりにたくさんのごみが放置されるようになりました。

どんなごみがあるのか



左のグラフを見ると、いろいろなごみがおちていることが分かります。

その中には、レジぶくろや※トレーなども見られます。

川でこのようなごみを見つけたら、そのままにしないことが大切ですね。

※トレー…発泡スチロールでできたさら

大切な川や海を守るために・・・

ひむか川で拾われなかつたごみは、そのまま海にながれてしまうことがあります。すると、ひむか川だけでなく、海もよぎれてしまうのです。



ごみ拾いをする他にも、買い物のしかたを工夫することで、ひむか川を守ることができます。

一つめは、買い物をするときに、レジぶくろを使わないようになります。

みなさんは、使いおわったレジぶくろを捨ててしまうことがありますか。

二つめは、買い物をするときに、必要な分だけ買うようにすることです。多くのものを買わなければ、その分のごみをへらすことができます。

一人一人が気を付け、大切なひむか川をみんなで守りましょう。

問一 まさるさんは、【パンフレット】を読んで、ひむか川や海を守るために、「買い物」をする上で自分たちでもできる」ことを、二つ見つけました。その二つのことを、【パンフレット】の中からさがして書きましょう。

問二 まさるさんが、【パンフレット】を見ていると~~~~線の「放置」という言葉の意味が分かりませんでした。そこで、国語じてんで、「放置」の意味を調べることにしました。国語じてんで、「放置」という言葉を調べる場合、次のア～エのうち、どの言葉よりあとに書いてあるでしよう。一つえらび、記号で答えましょう。

エ ウ イ ア
放虫 放題 包丁

放虫
ぼうちゅう

放題
ほうだい

包丁
ほうちょう

【三】ひかるさんは、みんなの前で、「わたしのとくいな」という題でスピーチをしました。次は、ひかるさんの【スピーチ原二】です。これを読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

【スピーチ原二】

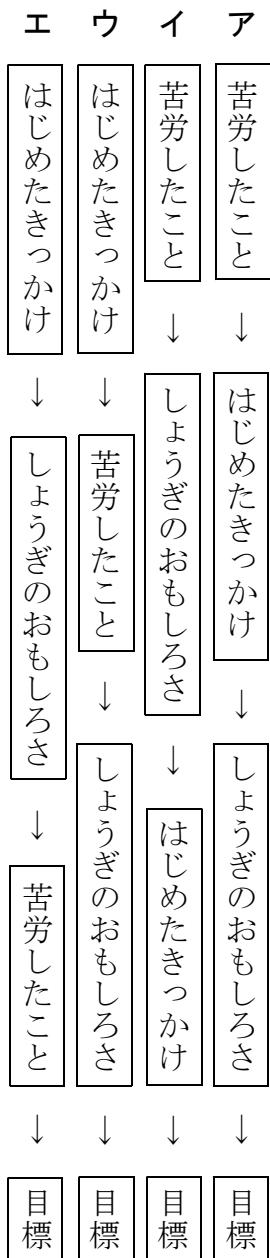
わたしは、ようち園の年長のころからはじめたしうぎがとくいです。はじめたきつかけは、おじいちゃんにさそわれたからです。おじいちゃんとしうぎをさしてると、おじいちゃんは、いつもわたしのことをほめてくれます。それがとてもうれしくて、わたしは、おじいちゃんとしうぎをしていました。

でも、おじいちゃんにつけられて、しうぎ会館に行つてみたら、強い小学生がたくさんいました。勝負しても勝てなくて、だんだんつまらないなと思うようになりました。

そんな時、おじいちゃんが一さつの本を買つてくれました。しうぎのさしかたが書かれている本です。しうぎは、一つ一つのこまの動かし方が決まっています。わたしは、こまのもつ役わりを生かして、一生けん命れんしゅうしました。相手の先をよんでもしていくことが、おもしろいと感じるようになりました。
これからもしうぎをつづけて、いつか段だんを取つてみたいと思います。

【問一】ひかるさんは、話すじゅん番を考えてスピーチをしました。ひかるさんがスピーチをした、話のじゅん番として正しいものはどれ

でしよう。もつともよくあてはまるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。



問二 ひかるさんのスピーチを聞いてしつ問をします。しつ問の内ようとして、もつともふさわしいものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

- ア おじいちゃんは、なんと言つてほめてくれましたか。
イ しようぎをはじめた理由は、なんですか。
ウ がんばつてひかるさんは、すごいと思いました。
エ ひかるさんは、何段になつたのですか。

問三 スピーチをするときに気をつけることとして、ふさわしいものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

- ア 聞く人に内ようが正しく伝わるように、スピーチ原こうだけを見る。
イ 聞く人に話の中心が伝わるように、言葉の発声に強弱をつける。
ウ 聞く人に楽しく聞いてもらうために、事実とはちがうことも話す。
エ 聞く人に内ようが伝わるように、話す速さや間の取り方を工夫する。

四 次の文章は、まゆみさんが体育の時間にがんばったことを書いた【作文の下書き】です。これを読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

【作文の下書き】

とびばことべた

体育の時間にとびばこをとびました。はじめはまったくとべませんでした。何回も何回もれんしゅうをしました。何回とんでもとべませんでした。すると、友だちのゆいさんが、「手を前につくといいよ。」

とアドバイスをしてくれました。わたしは言われたとおりにやつてみました。それでもとべません。それから何回もれんしゅうをしました。

いよいよさい後のれんしゅうになりました。とびばこをとぶしゅん間はどきどきしましたが、アドバイスのことだけを考えていたので、思いきりとびました。体が思っていたよりも前にいきました。ついに、わたしはとぶことができました。わたしは、ゆいさんのおかげでとぶことができたよ。と言いながら、ゆいさんとよろこびました。ゆいさんのアドバイスとこれまでのれんしゅうが、よろこびにつながりました。わたしはあきらめなければできるとわかりました。□、どんなこともあきらめず、ちようせんしていきたいと思います。

問一 まゆみさんは、自分の書いた【作文の下書き】を読みなおして、「 」を使った方が正しい表わし方になるところがあると考えました。「 」を使った方がよいところをさがし、書きぬきましょう。

問二 まゆみさんの【作文の下書き】の□に入る言葉として、もつともよくあてはまるものを、次のA～Eから一つえらび、記号で答えましょう。

A なので B すると
C だから D しかし

問題五は、次のページからはじまります。

次のそれぞれの問い合わせに答えましょう。

問一 次は、「動物の助けもほしくなるくらいそがしい。」という意味の【慣用句】を、あのア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

【慣用句】かんようくです。

□

□にもつともよくあてはまるもの

【慣用句】：□の手もかりたい

ア　ねこ　　イ　さる　　ウ　犬　　エ　馬

問二 次の「調べることメモ」を読んで、――線①～⑤のひらがなは漢字に、漢字はひらがなになおしましょう。ただし、漢字になおすとき、送りがながあるものについては、送りがなも書きましょう。

「調べることメモ」

1 調べること

- 学校にはどんな花が①うえられているか。

2 調べたいと思った理由

- そうじの時間に、花だん近くのそうじを②はじめた時、たくさんの花がさいていて学校にはどんな花があるのか、知りたいと思ったから。

3 調べる内よう

- どんな花がどんな場所にあるか。

4 調べるじゅんびや方法

- ③みじかい時間でも調べられるように、グループごとに場所を決めておく。
- ④図書館やパソコン室で調べる。

5 さらに調べてみたいこと

- ⑤通学路にはどんな花があるのか。

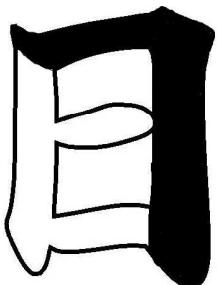
問三 次の――線部の言葉をローマ字になおして書きましょう。

わたしは、大根だいこんと豆ふの入ったおみそしるがとてもすきです。

問四 次の漢字「歯」の黒くぬつた部分は、何画目に書きますか。数字で答えましょう。



問五 毛筆で「日」という字を書きます。黒くぬつた部分（二画目）を書くときに気をつける」ととして、もつともよくあてはまるものを、あとにア、イから一つえらび、記号で答えましょう。



- ア 横画からおれると、こで筆を止めずに、力をぬいて、たて画を書き、筆をとめてはらからほ先の方へすばやく上げる。
- イ 横画からおれると、こで筆を止めずに、力を入れて、たて画を書き、筆をとめてはらからほ先の方へゆつくり上げる。
- ウ 横画からおれると、こで一度筆を止め、力を入れて、たて画を書き、筆をとめてはらからほ先の方へゆつくり上げる。
- エ 横画からおれると、こで一度筆を止め、力をぬいて、たて画を書き、筆をとめてはらからほ先の方へすばやく上げる。

B 問題

(十五分)

一 原さん(はらさん)の学級では、学級に何かをしていあんする前に、五人グループで話し合い、みんなに分かりやすいあんをまとめるようにしていきます。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

【話し合いの様子】

これから二二はんの話し合いをはじめます。教室の後ろの黒板のつかい方にについて、わたしたちのグループのあんをまとめましょう。まず、西森さんからていあんしてください。

ぼくは、黒板の右下に、「読んだ本、一言カードをはるコーナー」を作ることをていあんします。読んだ本をしようかいするカードを、じゅうにけいじできるところがほしいというのが、そのりゅうです。

西森さんていあんについて、何かしつ問はありますか。

西森さんにしつ問です。黒板の右下は、わすれ物をおく場所ですよね。それはどうするのですか。

わすれ物をおくところは、前の黒板のすみにうつせばいいのではないかと思います。

ほかにしつ問はありませんか。……ないようでしたら、ていあんについて、意見を言つてください。

岩村

原

今、
① というあんと、

1

2

早川さんはどう思いますか。

「じゅうにけいじできるところ」を作るというのは、いいと思います。でも、読んだ本、一言カードをはるだけではなく、昼休みのあそびのよびかけなど、「何でもカードに書いてはれるコーナー」にすれば、べんりだと思います。

早川

広田

原

③

原

西森

③

ぼくは、コーナーを作るなら、知らせる目的を一つにしほつた方がいいと思います。みんなにも分かりやすいと思うので、わたしも早川さんにさんせいです。

二人は、「読んだ本、一言カードをはるコーナー」にさんせいということですね。

③さんはどうですか。

早川さんの意見を聞いて、わたしも西森さんのていあんにさんせいします。

ていあん者の西森さんはどうですか。

早川さんの言うように、読んだ本を知らせる目的なら、クラスのみんなも、さんせいしてくれると思います。

それでは、二はんは、後ろの黒板に①というあんを、学級にていあんします。

問一

司会の原さんは、話し合いを①と②の二つのあんにまとめ、進めました。

①と②に入る言

葉としてもつともふさわしいものを、次のア～エからそれぞれえらび、記号で答えましょう。

- ア 「読んだ本、一言カードをはるコーナー」を作る
- イ 「何でもカードに書いてはれるコーナー」を作る
- ウ わすれ物をおく場所を作る
- エ 何か目的があるコーナーを作る

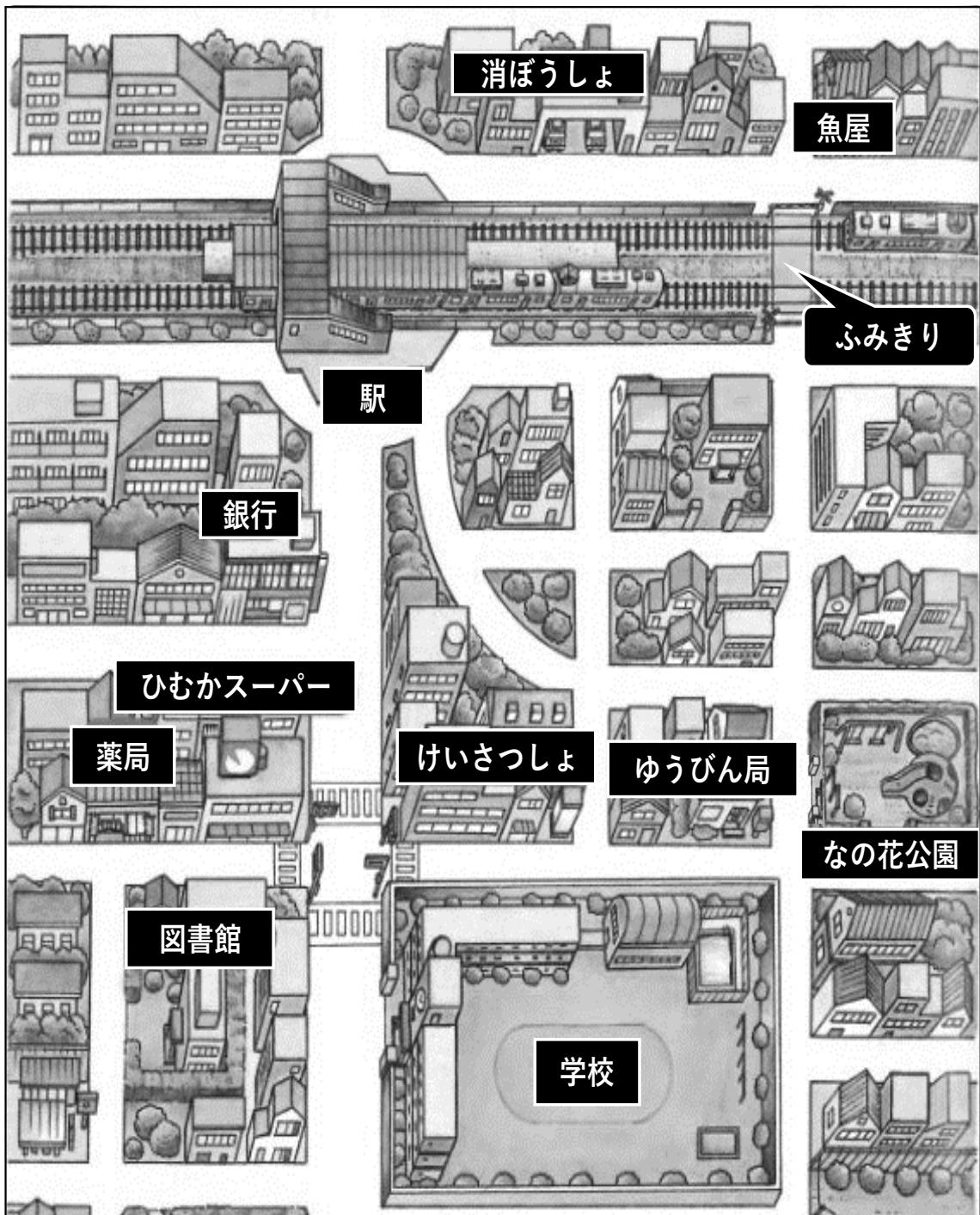
問二 司会者の原さんは、二つのあんをまとめたため、グループの③さんに意見をもとめました。

③に入る人の名前を【話し合

いの様子】に参加している人からえらんで書きましょう。

二 前田さんたちは、引っこしてきただばかりの谷川さんに、学校周辺の道あんないをしています。【町の地図】や【三人の道あんない】
【町の地図】を読んで、あととの問い合わせに答えましょう。

【町の地図】



※ 【町の地図】にある **学校** などの白い文字で書かれているものは、
たて物やしせつなどの名前を表しています。

【三人の道あんない】

前田さん



学校の門を出て駅の方に向かって行くと、右がわにけいさつしょ、左がわにひむかスープーが見えてきます。

さらにまっすぐ進み、一つめの角を左にまがると、右がわに銀行があります。

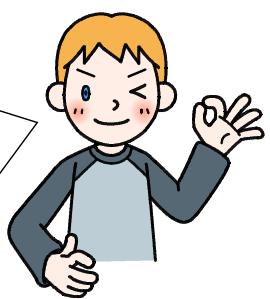
森口さん



はじめに、学校の門を出て右がわに進むとしん号があります。

そして、しん号を右にまがってまっすぐ行くと左がわにけいさつしょやゆうびん局があります。その前を通りすぎて角を左にまがると、なの花公園に行くことができます。

西山さん



まず、学校から駅に向かって行き、しん号を左にまがります。

次に、ひむかスープーを通りすぎると右がわに薬局が見えてきます。

さいごに、薬局が見えたら左がわにある角をまがると、図書館が見えてきます。

問一 前田さん、森口さん、西山さんの【三人の道あんない】のせつ明として、ふさわしいものを、次のア～エから二つえらび、記号で答えましょう。

- ア 前田さんの道あんないは、ことがらごとに番号をつけてせつ明している。
- イ 森口さんの道あんないは、はじめにどこに行くかを言つてからせつ明している。
- ウ 西山さんの道あんないは、じゅんじょを表す言葉をつかつてせつ明している。
- エ 【三人の道あんない】は、目的地までをじゅんじょよくせつ明している。

問二 なの花公園から「ふみきり」をこえて、「消ぼうしょ」までの道あんないを、谷川さんにせつ明します。【三人の道あんない】のせつ明の仕方をお手本にして、次の□に入る内ようを、あとの（じょうけん）にあうように答えましょう。

なの花公園から消ぼうしょに行くのに、もつとも短いきよりで行ける、道あんないをします。
まず、なの花公園を出て右に向かって、まつすぐ進むとふみきりがあります。
さらにまつすぐ進んで、ふみきりをわたります。

□ ことができます。

（じょうけん）

- 三十字以内で書くこと
- 【田の地図】にあるたて物やしせつなどの名前を二つ以上入れて書くこと
- 「、」や「。」なども一字として数えること